

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 466

政策体系	36	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 商工観光課
会計	一般会計	科目	7. 商工費 - 1. 商工費 - 2. 商工振 現年		
事業名	商工振興助成事業				
細事業名	商工振興助成事業				
評価表作成者				農林商工部 商工観光課	大谷 洋史

1. 事業の概要

商工会が実施する商店街の活性化及び事業者の経営振興に資する事業に対し支援する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

交通網の整備による近隣の大規模店舗へのアクセスが向上し、個人商店、商店街離れが進んでおり、大型店舗及び市外への消費流出を防ぎ、商工振興施策に積極的な財政支援を行うことにより市内商店の活性化を図り、市内消費を向上させる。

② 事業を実施する必要性

市内商店の活性化を図り、市内消費を向上を図る。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	4,000	9,570	2,000	1,000	2,000	1,000	1,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,000	9,570	2,000	1,000	2,000	1,000	1,000
職員等の従事人員		人/年	—	0.39	0.24	0.15			
人件費		千円	—	2,597	1,598	1,090			
事業費総額		千円	—	12,167	3,598	2,090			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

商工振興助成事業補助金 1,000,000円

5. 事業結果の概要

地元で買おう商店街振興事業（プレミアム商品券発行事業）の実施。
 歳末売出事業の実施

6. 活動の詳細

(1) 補助金		
市外への消費流出を防ぎ、商業振興施策に積極的な財政支援を行う。商工振興助成事業補助金 1,000,000円	申請による補助	市内商店の活性化、消費向上に寄与

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

交通アクセス向上から市内での消費離れが危惧される中、本事業により約3,000万円の市内消費が行われていることから、市内商店の活性化を図る手段の一つにつながっている。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

商店街の現状を把握したうえで、大型店及び市外への消費流出を一定防ぐために必要な支援である。今後は、山陰本線(京都～園部間)複線化に伴い消費者の京阪神圏への流出を防ぐための新たな商工振興施策に対する支援が必要と考える。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
地元商店街の活性化及び消費拡大への取り組みについて議論した。
- ②当該事業のアピール事項
商店街離れを食い止める施策として助成事業は必要であり活性化への一助とする。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
商工業者自らの活性化へ向けた自助努力も併せて必要と考える。